

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら神鳥谷教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月10日		～ 令和7年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 26日		～ 令和7年 3月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに全職員が参画している。	・毎朝のミーティングの際、昨日の活動の様子や保護者様とのやり取りも含め、全職員が共有し、改善点や対応の確認を話しあっている。	・シフト上、必ずしも全員が参加できる状態ではないため、情報共有の形式化ができれば更に改善されると思う。
2	子どものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画を作成している。	・保護者様の負担を懸念しているが、面談によりニーズの聞き取りや日頃の様子をお聞きする機会を設けている。 ・可能な限り保護者様にもお子様の状態把握、療育内容の確認のため、参観をお願いしている。	・お忙しい保護者さまには申し訳ないが、引き続きご家庭内、園や学校での状態の把握に重点を置き、療育内容のご確認やニーズの確認の機会を徹底させていただく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携、地域児童との交流が少ない。	・プログラムの性質上、外出が少なく、交流場面が少ない。	・引き続き、今年度は学校や園との連携を強化している。また、形式的な交流は用意できていないが、午前クラスでは公園に出かける事が多く、地域の方との関りも増えてきた。今後も取り入れていきたい。
2	父母の会の支援や保護者会を開催し、保護者同士の交流機会の場がない。	・ガイドラインの改正により営業時間が明確化された事、また療育時間の確保に重点をおいている事から交流の機会における場所や時間の確保が難しい。 ・必ずしも交流を求めている方ばかりではない。	・他事業所ではIT化が進み、スタッフとのやり取りも簡易的になっているとのこと。SNSにおいてプラットフォームの活用等も視野に入れ、検討していきたい。一方で顔の見える関わりも大切にしていきたい。
3			